



2024年1月4日

2024年 新年あいさつ（グループ役職員向けトップメッセージ）

グループ総力を結集して、共に新たな時代へのチャレンジを

NS ユナイテッド海運株式会社
代表取締役社長 山中 一馬

新年あけましておめでとうございます。

国内外のNS ユナイテッド海運グループの皆さんと共に、新しい年を迎えることができ大変うれしく思います。また常日頃からの、海上・陸上で働くすべての皆さまの献身的な努力に敬意を表し、心から感謝申し上げます。

2023年を振り返って

昨年は、世界的な資源高とインフレ、またそれに伴う各国の金融引き締めへの政策転換などにより経済環境は不透明感が増し、ドライバルク市況も変動の激しい1年でした。

このような中で、当社グループは長期契約による安定収益や効率配船等に加えて、為替動向にも支えられ、すでに発表しているとおり2023年度上期業績は半期営業利益としては5半期連続で100億円を上回ることができました。また通期業績見通しでも、過去最高となる昨年度との比較では減益となるものの、従来予想を上回る収益を確保できる見込みです。これもひとえに当社グループ社員の皆さまの惜しみない努力のおかげであると思っています。ぜひ、現状の業績見通しを上回る結果を残せるように、引き続き当社グループ一丸となって頑張っていきましょう。

現行中期経営計画とその成果

私たちは2020年に発表した現行中期経営計画「FORWARD2030」において、2030年のありたい姿を「収益性と社会性を兼ね備えた企業」と描き、これを実現していくために、「ブランド力の向上」「サステナブルな事業構造の構築」「レジリエントな経営基盤の確立」の3つの重点戦略に沿って取り組みを進め、多くの成果をあげることができました。

「ブランド力の向上」に関しては、「サステナビリティ基本方針」の下でESG経営を推進してきました。昨年1月には「NS ユナイテッド海運グループ人権方針」を策定し、人権の尊重はグローバルに事業を展開する企業として果たすべき社会的責任であることを当社グループの方針として明確に示すこと

もできました。また、これまで築き上げてきた「Uブランド」のさらなる向上を目指して、安全運航と環境保全への取り組みを強化・加速するとともに、先進技術の導入や人的資本への投資促進、またガバナンスの強化を進め、具体的な成果をあげることができました。

「サステナブルな事業構造の構築」に関しては、気候変動への対応を経営の最重要課題と位置付けて、2050年までのカーボンニュートラルを目指したさまざまな取り組みを外航部門、内航部門ともに実行してきました。

また「レジリエントな経営基盤の確立」に関しては、有利子負債の削減を進めつつ財務基盤の健全性を高めることができ、連結営業利益、ROE、Net DERともに目標とした数値を当初計画より前倒して達成することもできました。

このように現行中期計画において多くの取り組みを実行し、成果をあげることができたのは、皆さまのご尽力の結果です。本当にありがとうございました。一方で、いまだ取り組み途上の課題も多くあります。現行中期経営計画の対象期間はいよいよ残すところあと3カ月弱となりました。残された課題に最後まで全員で粘り強く取り組んでいきましょう。

2024年、そして新たな時代に向けて

いよいよ2024年が始まりました。今年も昨年に引き続き予測不能な大きな変化があることを覚悟しなければなりません。世界的な政治・経済・社会における困難な諸課題の顕在化と増加、幅広い分野における技術の進展、そしてグローバルな気候変動対応の加速化など、私たちを取り巻く経営環境はますます早いスピードで変化していくことになるでしょう。そして国際海運マーケットにおいても、成長する経済圏のシフト、お客さまにおける脱炭素に向けた構造改革、さまざまな要因を背景とした船腹需給動向の変化など、すでに新たな時代に向けた動きが始まっています。このように変化が大きく、時代の転換点にある今だからこそ、当社グループが目指す姿を改めて全員で共有し、確実に実行していくことが、これまで以上に重要だと考えています。

今後の当社グループが目指す姿、すなわちビジョンとそれを実現していく上での具体的な戦略となる次期中期経営計画については、2024年度からスタートすべく現在策定しているところです。計画策定にあたっては、長期的かつ不可逆と思われる世の中の大きなトレンドである気候変動を中心としたサステナビリティ課題の解決を事業戦略の中に織り込み、「収益性と成長性のさらなる向上」とそれを実現する上で不可欠な「サステナビリティ経営のさらなる推進」を基軸にしていきたいと考えています。

収益性に関しては、安定輸送契約の締結、安定貨物の確保、高い運航効率の実現等を通じて、高い収益性と付加価値の創出をさらに追求していきます。また成長性に関しては、環境価値拡大が期待できる船腹への投資、社会的なニーズやお客さまの戦略変化に呼応した新規貨物の獲得への取り組みなどをさらに強化していきます。

サステナビリティ経営のさらなる推進にあたっては、現行中期経営計画でも掲げている6つの重点課題である①安全運航、②環境保全、③お客さま満足度、④技術イノベーション、⑤人材確保、育成、⑥コーポレート・ガバナンス、への取り組みをさらに深化、加速させていきます。

この次期中期経営計画は、いわば当社グループ経営の今後の「羅針盤」であります。この計画を全員で共有して、一人ひとりが自らへの役割と期待について十分認識し、当事者として存分に力を発揮して

もらいたいと願っています。

ステークホルダーと共に

今後の諸課題に取り組んでいくためには、グループ全体としての結束力に加えて、ステークホルダーとの強いパートナーシップを大切にしていくことが必要不可欠です。

私たちのビジネスが成り立っているのは、単なるグループ内の努力だけではありません。私たちを支えていただいているお客さま、お取引先さま、そして各関係者の皆さまおかげなのです。

そのため、私たちはステークホルダーとの連携を一層強化し、より良いパートナーシップを築くことに注力しなければなりません。相手のニーズや要望を正しく理解し、お互いに利益を最大化し合うような関係を構築して、ステークホルダーと協働しながら当社グループのパーパスである「海上物流で、共に世界の今をつくる責任、未来へつなぐ責任を果たす」を実現していきましょう。

最後に

今年の干支は甲辰（きのえたつ）です。甲辰は、力強さと活動的なエネルギーを象徴する年です。辰の力強いイメージと甲の活発なイメージが組み合わさり、活気あふれる1年となることでしょう。甲辰の年は仕事や学びの面でも大いに成果を出すことができる年とされています。新たなスキルの習得、アイデアの実現、そして新たなチャレンジなど困難に立ち向かい、チャンスを掴み成長を遂げるような1年にしてまいりましょう。また、人間関係において絆が深まる年とも言われています。大切な人との絆を大事にして、感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきましょう。

本年が皆さまにとって充実した1年になりますように、そして皆さまのご安全、ご健康、そしてご多幸をお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしく申し上げます。